

## 【2025・2026年度 2年間の指針】

乳幼児親子の芸術・あそび体験の重要性を学ぶことが多く、これからも0～2歳児の発達に寄り添い、五感を育む体験を届ける「ゆったりりん」の取り組みを大切に進めていきたい。また、舞台鑑賞と表現あそびの体験は、るーぷの特色的な取り組みであり、途切れることなく継続していきたい。

スタッフの子ども達が高学年になっていくのに合わせて、もっと子どもの意見を取り入れたり、自分たちで企画を立案できるよう応援していきたい。また地域とのつながりを大切にして、袖ヶ浦市に少しずつ増えてきたNPO団体(子ども食堂など)とも、子どもに届ける活動で連携できることはないか、考え合っていく機会を作りたい。

## 【2026年度の方針】

1. 「舞台鑑賞」と「表現あそび」を子どもるーぷの特色ある取り組みの両輪として、創造団体との出会いを大切にしながら、その魅力をさらに地域に向けて発信していく。
2. 「ゆったりりん」は、昨年度の成果を行政や他団体に伝え、情報交換をしていく。ママだけではなくパパも含めた乳幼児家庭に向けて、文化芸術を柱に豊かな時間を届ける。
3. 高学年を中心に、子ども未来会議を定着させて、子どもたちの主体的な関わりを増やしていく。
4. 市民活動サポートセンター「そでのわ」への登録を生かしての情報発信、他団体とのつながりの機会を増やす。
5. 時代に合わせた会の形を引き続き模索する。子どもるーぷを知ってもらい応援してくれる人を増やしていく。

## 【2026年度の事業計画】

## I 子育て支援事業

- ① 「子どもるーぷまつり」 11/29(日) 市民会館
- ② ゆったりりん～るーぷのおやこ広場～「ぷっかりぽっかり/くわえ・ぱぺっとステージ」5/24(日)  
「赤ちゃんコンサート(ピアノとおはなし)」9/13(日)、「赤ちゃんコンサート(うたとピアノ)」  
2027年1/31(日)
- ③ るーぷのおやこ文庫「わっくぶっく」 毎月2回(1回はおはなし会) 水・金曜日 事務所
- ④ 乳幼児とお母さんのあそびの場「ぴっぴ」 毎月2回(1回はおでかけ) 主に木曜日 登録制

## II 子どもと大人のための自然体験・遊び体験・芸術体験事業

- ① 何でも体験隊
  - ・畑や活動地を中心とした自然体験(タケノコ掘り・ジャガイモ掘り・サツマイモ掘りなど)
  - ・会員の企画による遊び体験(水あそび・デイキャンプなど)
- ② 表現あそび(幼児向け) NPO法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン 2027年2/14(日)
- ③ 芸術体験事業
  - ・人形劇「やもじろうとはりきち」/くわえ・ぱぺっとステージ 5/24(日) 袖ヶ浦市民会館

## III 子育てと文化に関する調査、情報収集・発信事業

- ① 機関紙「どりーむBOX」の発行(年間5回)
- ② 地域の学校および公民館等の芸術鑑賞会への情報提供(随時)
- ③ HP・FB・X・インスタの随時更新・発信
- ④ 子ども、親子の居場所づくりに関する調査・研究

## IV 子どもと文化に関する学習研修事業

- ① 北島尚志氏の講演会「あそびは子どもの主食です」7/5(日) 所でふれば(市役所)

## V 行政・諸団体とのネットワーク事業

- ① 市民会館まつり(10/31・11/1) 実行委員
- ② 郷土博物館ミュージアムフェスティバル(6/6・7) 実行委員
- ③ 「子どもるーぷまつり」11/29(日) …袖ヶ浦市と共催

## 【その他】

- \* 代宿児童館主催「ほわりん」に協力という形でスタッフを派遣
- \* 袖ヶ浦市子ども子育て支援会議委員 \* 協働のまちづくり推進委員会委員
- \* 袖ヶ浦市地域総合支援協議会メンバー

☆ 会員交流会：年5回開催(機関誌の発行に合わせ月終わりの水曜日) 会員同士の自由な交流の場

